



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 デンヨー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6517 URL <https://www.denyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白鳥 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理部門長 (氏名) 田邊 誠 TEL 03-6861-1111

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,271	13.8	1,083	32.9	1,157	31.5	800	31.8
2022年3月期第2四半期	24,836	2.0	1,615	19.8	1,689	22.0	1,173	18.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,238百万円 (58.2%) 2022年3月期第2四半期 2,047百万円 (32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	38.64	
2022年3月期第2四半期	56.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	85,049	66,470	74.9
2022年3月期	80,774	63,760	76.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 63,742百万円 2022年3月期 61,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		25.00	47.00
2023年3月期		23.00			
2023年3月期(予想)				25.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	3,400	6.9	3,500	13.1	2,400	12.8	115.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は本日(2022年11月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	22,859,660 株	2022年3月期	22,859,660 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,132,867 株	2022年3月期	2,140,078 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	20,723,049 株	2022年3月期2Q	20,860,102 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年11月22日(火)に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され経済活動の正常化が進むものの、原材料価格の高騰や急激な円安進行の影響などにより不安定な状況が続きました。また、世界経済にも持ち直しの動きがみられましたが、ウクライナ情勢の長期化や世界的なサプライチェーンの混乱などから不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、建設市場向けがおおむね横ばいで推移し、防災意識の高まりから防災減災関連の底堅い需要が続きました。海外においては、経済活動が回復する中、円安などを背景に需要が順調に回復いたしました。一方、供給面においては、部品の納入遅延などの影響を強く受け、また、世界的な物価上昇による原材料価格の高止まりが製造原価の上昇要因となりました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、生産資材のグループ内融通などによる生産の安定化に注力し、製品展示会への積極的な出展や海外における受注強化に努めた結果、売上高282億71百万円（前年同期比13.8%増）となりました。一方、原材料コストの上昇が販売価格の値上げに先行している影響もあり、営業利益10億83百万円（同32.9%減）、経常利益11億57百万円（同31.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億円（同31.8%減）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

なお、各セグメントの連結業績は、各地域を所在地とする当社及び連結子会社各社の業績を基礎としております。したがって、日本セグメントの連結業績は2022年4月から9月まで、日本以外のセグメントの連結業績は在外連結子会社の第2四半期決算日が6月末日であるため、2022年1月から6月までのものとなっております。

(日本)

日本は、主力の国内レンタル市場における需要が堅調に推移し、また、アメリカやアジア市場向けに発電機の輸出も増加しましたが、一部製品の生産遅延が継続している影響もあり、売上高190億97百万円（前年同期比4.1%減）となりました。また、原材料価格の高騰による売上原価率の上昇もあり、営業利益4億36百万円（同65.7%減）となりました。

(アメリカ)

アメリカは、発電機の需要は高水準に推移しており、主要部品の納入遅延による現地生産の一部遅延がみられたものの、一定の生産量を確保できたことに加え、円安効果もあり、売上高67億12百万円（同95.6%増）、営業利益2億43百万円（同1,185.6%増）となりました。

(アジア)

アジアは、資源開発やインフラ整備向けなど需要は回復傾向にある中、円安による製品の価格競争力の上昇も追い風となり、売上高22億46百万円（同53.9%増）、営業利益4億51百万円（同50.9%増）となりました。

(欧州)

欧州は、主要な販売先である英国市場向けに出荷が回復したことから、売上高2億13百万円（同624.1%増）、営業利益11百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、597億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億91百万円増加いたしました。これは主に、受取手形が15億53百万円減少した一方で、仕掛品が12億3百万円、原材料及び貯蔵品が25億21百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、252億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億83百万円増加いたしました。これは主に、土地が5億49百万円、建設仮勘定が3億47百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、850億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億74百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、156億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億49百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が9億11百万円、短期借入金が1億64百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、29億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が1億56百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、185億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億65百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産は、664億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億9百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8億円や、配当金の支払5億38百万円、その他の包括利益累計額の増加20億56百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント下降し、74.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内外ともに需要は回復基調で推移するものと予想しておりますが、依然として一部の生産資材の調達は不安定な状況にあり、更なる原材料コストの上昇も懸念される状況であります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、供給の安定化と原材料コストの上昇分の販売価格への反映を進めるとともに、第二次中期経営計画「Denyo2023」の各種施策を着実に実行してまいります。

連結業績予想につきましては、足元の事業動向や現時点での入手可能な情報、予測等に基づき2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想を修正することいたしました。

詳細につきましては、本日（2022年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,358	23,548
受取手形	4,102	2,548
電子記録債権	4,306	3,696
売掛金	11,856	11,353
有価証券	999	999
商品及び製品	5,086	5,451
仕掛品	1,724	2,927
原材料及び貯蔵品	6,049	8,571
その他	392	668
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	56,872	59,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,140	7,446
機械装置及び運搬具(純額)	2,011	1,879
土地	5,066	5,616
建設仮勘定	319	667
その他(純額)	226	216
有形固定資産合計	14,764	15,826
無形固定資産	694	779
投資その他の資産		
投資有価証券	8,092	8,269
繰延税金資産	226	258
その他	127	154
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,443	8,679
固定資産合計	23,902	25,285
資産合計	80,774	85,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,026	9,938
電子記録債務	2,554	2,635
短期借入金	210	374
未払費用	553	584
未払法人税等	404	328
賞与引当金	642	736
役員賞与引当金	66	32
製品保証引当金	98	95
その他	713	894
流動負債合計	14,269	15,619
固定負債		
長期借入金	856	1,013
リース債務	283	320
繰延税金負債	1,113	1,145
退職給付に係る負債	458	448
その他	31	31
固定負債合計	2,744	2,959
負債合計	17,013	18,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,788	1,788
利益剰余金	56,500	56,763
自己株式	△2,598	△2,587
株主資本合計	57,645	57,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,209	3,347
為替換算調整勘定	591	2,486
退職給付に係る調整累計額	△33	△10
その他の包括利益累計額合計	3,766	5,823
非支配株主持分	2,348	2,728
純資産合計	63,760	66,470
負債純資産合計	80,774	85,049

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	24,836	28,271
売上原価	19,268	22,851
売上総利益	5,567	5,419
販売費及び一般管理費	3,952	4,336
営業利益	1,615	1,083
営業外収益		
受取利息	20	22
受取配当金	82	111
受取家賃	41	42
持分法による投資利益	—	10
その他	27	15
営業外収益合計	171	202
営業外費用		
支払利息	26	17
持分法による投資損失	2	—
為替差損	57	97
その他	10	14
営業外費用合計	96	129
経常利益	1,689	1,157
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	28	39
特別利益合計	29	39
特別損失		
固定資産処分損	37	0
特別損失合計	37	0
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,195
法人税、住民税及び事業税	515	480
法人税等調整額	△8	△65
法人税等合計	507	414
四半期純利益	1,174	781
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,173	800
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	137
為替換算調整勘定	898	2,296
退職給付に係る調整額	5	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	872	2,457
四半期包括利益	2,047	3,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,913	2,857
非支配株主に係る四半期包括利益	134	381

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,195
減価償却費	673	606
受取利息及び受取配当金	△102	△134
支払利息	26	17
持分法による投資損益 (△は益)	2	△10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△28	△39
売上債権の増減額 (△は増加)	3,719	3,505
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,316	△2,926
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,098	178
その他	32	578
小計	3,588	2,972
利息及び配当金の受取額	115	146
利息の支払額	△26	△17
法人税等の支払額	△1,044	△564
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,633	2,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△350	△1,036
無形固定資産の取得による支出	△7	△61
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	81	69
その他	△30	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△1,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	149
長期借入れによる収入	782	—
長期借入金の返済による支出	△1,107	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△541	△538
非支配株主への配当金の支払額	△30	△1
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△905	△399
現金及び現金同等物に係る換算差額	279	83
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,699	1,190
現金及び現金同等物の期首残高	22,913	23,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,613	24,548

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,915	3,431	1,459	29	24,836	—	24,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,090	148	2,222	2	4,464	△4,464	—
計	22,006	3,580	3,682	31	29,301	△4,464	24,836
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	1,272	18	298	△8	1,581	33	1,615

(注)セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,097	6,712	2,246	213	28,271	—	28,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,131	275	3,286	1	6,695	△6,695	—
計	22,229	6,988	5,532	215	34,966	△6,695	28,271
セグメント利益(営業利益)	436	243	451	11	1,141	△58	1,083

(注)セグメント利益の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

製品区分別及び販売地域別に分解した収益の情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	前期比 (%)
発電機	19,297	23,284	3,986	20.7
溶接機	2,499	2,138	△361	△14.4
コンプレッサ	383	385	1	0.5
その他	2,654	2,461	△192	△7.3
顧客との契約から生じる収益	24,836	28,271	3,434	13.8
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,836	28,271	3,434	13.8

(単位：百万円)

販売地域の名称	前第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	前期比 (%)
日本	15,465	14,164	△1,300	△8.4
海外	9,371	14,106	4,735	50.5
アメリカ	5,736	9,551	3,815	66.5
アジア	2,095	3,258	1,162	55.5
その他	1,539	1,296	△242	△15.8
顧客との契約から生じる収益	24,836	28,271	3,434	13.8
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,836	28,271	3,434	13.8

(重要な後発事象)

当社は、2022年10月13日開催の取締役会において、連結子会社であるニシハツ㈱で新本社・工場の建設を行うことを決議いたしました。

1. 設備投資の目的

同社が製造販売している防災用発電機に対する需要の高まりを受けて、生産能力増強及び生産効率化を目的として、新本社・工場の建設を行います。なお、現本社・工場の跡地は社内外向け研修施設及び製品倉庫としての活用を検討しております。

2. 設備投資の内容

- (1) 所在地 佐賀県唐津市
- (2) 設備内容 本社棟、工場棟及び生産設備
- (3) 投資額 約63億円

3. 設備の導入時期

- 2023年1月着工予定
- 2024年7月稼働予定

4. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

2023年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。